



2024年11月12日

各位

会社名 JUKI株式会社
代表者名 代表取締役社長 成川 敦
(コード番号 6440 東証プライム市場)
問合せ先 コーポレートオフィサー 南 大造
財務経理部長
(TEL. 042-357-2211)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2024年11月12日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2024年8月7日に公表しました2024年12月期(2024年1月1日～2024年12月31日)の業績予想について、下記のとおり修正することとしましたのでお知らせします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2024年1月1日～2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回修正予想 (A)	百万円 101,000	百万円 △ 1,900	百万円 △ 3,000	百万円 △ 4,000	円 銭 △135.62
今回修正予想 (B)	94,000	△ 1,600	△ 4,200	△ 4,200	△141.60
増減額 (B-A)	△ 7,000	300	△ 1,200	△ 200	
増減率 (%)	△ 6.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2023年12月期)	94,750	△ 2,699	△ 3,684	△ 7,035	△238.54

(修正の理由)

前回公表値(8月7日)と比較し、経常利益が主に為替差損の影響により12億円減少し42億円の損失となる見通しとなりましたので上記の通り修正いたします。

売上高は、アジア・中国等一部地域で売上が回復したものの、欧州市場の需要回復の遅れや売上平準化(*)等により前回修正予想対比6.9%減少する見通しです。

営業利益は、一部マーケットが回復したことや、売上平準化等により利益率が改善したことに加え、第3四半期中の平均為替レートが前年同期比円安で推移したことなどにより、前回修正予想対比3億円改善する見通しです。

経常利益は、9月末為替レートが143円と6月末(161円)対比大幅な円高となり多額の為替差損が発生したことなどにより前回修正予想対比12億円減少する見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、有価証券売却益等により、前回修正予想対比2億円の減少に留まる見通しです。

なお、第4四半期につきましては、縫製機器&システム事業では、引き続き好調なアジアに加え、米国で自動車、またシューズ等ノンアパレル市場が回復してきており、産業装置では好調な米州での需要拡大が見込まれます。このような市場回復に加え、売上平準化、生産調整の解消による利益率の向上等により、第4四半期単独では経常利益黒字化の見込みです。

*「売上平準化施策」

四半期末への売上集中による、利益率減、生産コスト増、在庫増を回避するために、四半期末の売上を抑制し、中長期的な利益率の向上、生産コストの低減、在庫削減を図る施策。

※ 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上